

令和6年能登半島地震からの復興に関する支援決議

令和6年1月1日に発災した令和6年能登半島地震は、マグニチュード7.6、最大震度7を観測し、県内全域に大きな被害をもたらしました。

多くの尊い命が奪われるとともに、道路や上下水道、電気・通信等ライフラインの途絶など、想像を絶する被害により、今なお多くの被災者が避難生活を余儀なくされております。

野々市市議会は、このような深刻な状況に鑑み、市民5万5千人を代表し、被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げ、その苦しみや悲しみ、困難に対し強い共感と連帯の意を表するとともに、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。

今回の地震において、県内外の自治体職員や消防・警察・医療関係者・自衛隊等が発災直後より被災地に入り、人命救助や被害者支援など、様々な活動に不眠不休で取り組んでおられます。また、国内外からもボランティアや多大な支援を頂いております。

救助活動や復旧作業に尽力されている関係者の方々に敬意と感謝を表するとともに、すべての自治体が心を一つにして政府と協力しながら、それぞれ最大限の復興活動に取り組まれることを強く望みます。

被災地の早期復興を全力で支援することを誓い、ここに決議します。

令和6年3月22日

石川県野々市市議会